

びわこ学院大学短期大学部 令和5年度 一般選抜（英語）

【1】 次の各組の語の中で、下線部の発音が左端の語と同じものをア～ウの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- 問1 counsel ア. shoulder イ. couch ウ. rough
 問2 heart ア. hard イ. pearl ウ. earth
 問3 brow ア. allow イ. bowl ウ. slow
 問4 tough ア. though イ. enough ウ. through
 問5 cease ア. cleanse イ. rise ウ. increase

【2】 次の英文の（ ）に入れるのに、最も適切なものをア～ウの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- 問1 He as well as I () tired of the work.
 ア. is イ. are ウ. have
 問2 You must try to avoid () her feeling.
 ア. hurt イ. to hurt ウ. hurting
 問3 She looks very beautiful () a wedding dress.
 ア. in イ. on ウ. for
 問4 This is the house () I used to live when I was young.
 ア. where イ. what ウ. whose
 問5 She seemed () at the result.
 ア. to disappoint イ. disappointing ウ. disappointed

【3】 次の各日本語の意味になるように、英文の（ ）内ア～オの語（句）を並べ替えなさい。

解答欄には、並べ替えたア～オのうちの2番目と5番目にくる記号をそれぞれ答えなさい。
 なお、文頭に使う語（句）もすべて小文字で与えられています。

- 問1 彼らはその野球の試合に勝てるよう猛練習した。
 They practiced (ア. could イ. hard ウ. so エ. they オ. that) win the baseball game.
 問2 太郎君はそのようなことを言うほど愚かではない。
 Taro knows (ア. than イ. such a thing ウ. better エ. to オ. say).
 問3 私はSDGsがどのようなものか知らない。
 I have no (ア. idea イ. what ウ. are エ. the SDGs オ. of) like.
 問4 翌朝、起きたら私は有名人になっていた。
 (ア. find イ. myself ウ. I エ. to オ. awoke) famous next morning.
 問5 彼女は回復したおかげで、研究を続けることができた。
 Her recovery (ア. to イ. her ウ. pursue エ. enabled オ. her studies).

【4】次の対話文の () 1～5 に入れるのに、最も適切なものを下のア～カの中から1つずつ選び、記号で答えなさい。

- Yuka: Are you busy next weekend? Let's go here.
 Jiro: The Kyoto Museum of Art? I've heard about that. A friend of mine said that there are many interesting works of art there. (1)
 Yuka: It's in Okazaki, Kyoto. (2)
 Jiro: Sure! How about on Saturday?
 Yuka: I can't go on Saturday. (3) How about Sunday?
 Jiro: OK. What time do you want to go?
 Yuka: (4) We can eat lunch in one of the restaurants there.
 Jiro: Then we can visit the Kyoto City Zoo. There are a variety of animals. (5)

- ア. I want to see gorillas.
 イ. I want to go after I have eaten lunch at home.
 ウ. Let's go to the museum in the morning.
 エ. Where is it?
 オ. Do you want to go?
 カ. I'll work part-time at the convenience store.

【5】次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

The sunlight that reaches earth in one hour has as much energy as all the power that people use in a year! But (1) can we get this energy and use it on earth?

'Solar' means 'coming from the sun', so when you use sunlight to make things hot, it is called *solar thermal power. Many buildings use materials like glass and plastic to catch sunlight and heat the building. In Africa, people use solar cookers. When light hits the surface of the cooker, it is reflected into the middle. (6)The middle **【 hot / to / enough / becomes / heat water 】 or cook food.** In countries like Turkey and China, people put solar water heaters on their roofs. These are metal and glass boxes with water pipes in them. The glass catches heat and the metal reflects sunlight onto the water pipes, which carry the hot water (2) into the houses.

We can use sunlight to make electricity too, with devices called *solar cells, which are made (3) silicon. When sunlight hits the silicon, *particles inside it move, and (7)this makes electricity. One solar cell does not produce much power, so we put the cells together to make big solar panels.

At the moment, the best solar cells can only use about 25 per cent of the sunlight that hits them, and they are an expensive way to produce electricity. But people are inventing better and cheaper solar cells (8)all the time. In the future, we will use it to do more and more things. You can already buy solar lights, solar radios, and small solar panels for things like computers and phones.

We can use solar power to (4) too. In July 2010, *André Borschberg flew a solar plane called *Solar Impulse* for 26 hours before he stopped. Power for the four engines came from 12,000 solar cells on the wings of the plane. It was able to fly at night (5) batteries inside the plane which kept solar energy. There are also solar boats, and every two years, in the *World Solar Challenge, solar cars leave Darwin on a 3,000-kilometre journey across Australia. (9)They all try **【 to arrive / be / to / in Adelaide / the first 】**, and the fastest cars can reach 100 kilometres per hour.

- (注) *solar thermal power 太陽熱発電
 *solar cells 太陽電池
 *particles 分子
 *André Borschberg アンドレ・ボルシュベルグ：スイスのソーラー・インパルス社の最高経営責任者
 *World Solar Challenge ワールド・ソーラー・チャレンジ：ソーラーカーのレース

問1 文中の() 1～5に入れるのに、最も適切なものをア～ウの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (1) ア. how イ. what ウ. which
- (2) ア. down イ. up ウ. over
- (3) ア. with イ. of ウ. in
- (4) ア. cook イ. travel ウ. produce
- (5) ア. in spite of イ. according to ウ. because of

問2 文中の下線部(6), (9) がそれぞれ次の日本語の意味を表すように【 】内ア～オの語(句)を並べ替えなさい。
解答欄には、並べ替えたア～オのうちの2番目と5番目にくる記号をそれぞれ答えなさい。

- (6) 中心部が水を温めたり調理したりするのに十分な熱さになる。
The middle 【 ア. hot イ. to ウ. enough エ. becomes オ. heat water 】 or cook food.
- (9) 彼ら(ソーラーカー)はみんな、アデレード到着の一番乗りになろうとする。
They all try 【 ア. to arrive イ. be ウ. to エ. in Adelaide オ. the first 】.

問3 文中の下線部(7) this が指し示すものをア～ウの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. sunlight
- イ. solar cells
- ウ. that sunlight hits the silicon and particles inside it move

問4 文中の下線部(8) all the time と同じ意味の語をア～ウの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. constantly
- イ. rarely
- ウ. temporarily

問5 本文の内容に合致するものをア～エの中から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 地球に注ぐ1時間分の太陽光で、人々が1年間に使う電力をまかなうことができる。
- イ. 太陽熱温水器はガラスと金属の両方の反射によってパイプの中の水を温める。
- ウ. 将来、太陽電池はもっと安価になり、さらに多くの分野において応用されるだろう。
- エ. 3年に1度、ソーラーカーの世界大会がオーストラリアで開催される。

正答例 & 解説

2023年度 一般選抜【英語】

- 正答例 [1] 問1 イ 問2 ア 問3 ア 問4 イ 問5 ウ
 [2] 問1 ア 問2 ウ 問3 ア 問4 ア 問5 ウ
 [3] 問1 ② ウ ⑤ ア 問2 ② ア ⑤ イ 問3 ② オ ⑤ ウ
 問4 ② オ ⑤ イ 問5 ② イ ⑤ オ
 [4] (1) エ (2) オ (3) カ (4) ウ (5) ア
 [5] 問1 (1) ア (2) ア (3) イ (4) イ (5) ウ
 問2 (6) ② ア ⑤ オ (9) ② イ ⑤ エ
 問3 ウ
 問4 ア
 問5 ア/ウ

大問	問	配点
1		各 2 点 × 5
2		各 3 点 × 5
3		完答各 4 点 × 5
4		各 3 点 × 5
5	1	各 3 点 × 5
	2	完答各 4 点 × 2
	3	4 点
	4	3 点
	5	5 点 × 2
		合計 100 点

[5] 地球に届く1時間分の太陽光は人々が使う1年分の電力エネルギーに相当する。しかし、地球でどのように太陽光を取り入れて、活用すればいいのだろうか。

「ソーラー」とは「太陽から来ている」という意味なので、物を加熱するために太陽光を使うと、太陽熱発電と呼ばれる。多くの建物で、太陽光を取り入れて建物を暖房するためにガラスやプラスチックのようなものを採用している。アフリカでは、人々が太陽熱調理器を使っている。太陽光が調理器の表面に当たると、中心部が水を温めたり調理したりするのに十分な熱さになる。トルコや中国のような国では、屋根の上に温水器を設置している。これらは、中に水のパイプが入った金属とガラスでできた箱状のものである。ガラスが熱を取り入れて、金属が太陽光を水のパイプの上に反射させる。そしてパイプが温められたお湯を家の中に運ぶ。

我々はまた、シリコンでできた太陽電池という装置によって発電のために太陽光を使う。太陽光がシリコンに当たると、内部の分子が動き、このことによって電気が生まれる。1個の太陽電池では多くの電気を作れないので、大きな太陽光パネルを作るために多くの太陽電池を組み合わせる。

現在では、最も優れた太陽電池でも照射される太陽光の約25%しか使うことができないし、発電のやり方としてはコストが高い。しかし、人々は絶えずより優れた、より安価な太陽電池を作ろうとしている。将来、我々はさらに多くのことをするために太陽電池を使うことになるだろう。ソーラー照明器具やソーラーラジオ、そしてコンピューターや携帯電話用の小さな太陽光パネルを我々はすでに買うことができる。

我々はまた、移動するために太陽光発電を使うことができる。2010年の7月、アンドレ・ボルシュベルグが「ソーラー・インパルス」というソーラー飛行機で着陸するまでの26時間を飛行した。4つのエンジンの動力は、飛行機の翼上の12,000個の太陽電池から来っていた。それは太陽光エネルギーを蓄えている飛行機内部のバッテリーのおかげで夜間も飛ぶことが可能であった。また、ソーラーボートもあり、そして2年ごとのワールド・ソーラー・チャレンジではソーラーカーがダーウィンを出発してオーストラリアの3,000キロを横断する。彼ら（ソーラーカー）はみんな、アデレード到着の一番乗りになる。そして、最も速い車は時速100キロでゴールに到着することができる。



大学受験のエキスパート！
が詳しく解説！

問題構成

大問	問題形式	設問数
1	下線部が同じ発音の単語を選択する問題	5
2	短文中の空所補充問題	5
3	語句整序問題	5
4	対話文完成問題	5
5	文章読解問題（370語程度の文章）	10

短期大学部一般選抜の英語問題は、大問5つで構成されている。大問1は発音問題、大問2は空所補充問題、大問3は整序問題、大問4は対話文完成問題、大問5は370語程度の英文を読んで設問に答える読解問題である。いずれも基礎的な英語力を問う問題であるため、高校英文法の学習、標準的な単語とイディオムの暗記、そして350～400語程度の英文を読む練習をすることが対策となる。

攻略ポイント

<大問2>

短文中の空所に当てはまる語句を選ぶ問題である。今年度は、「SVの単数複数一致」「目的語に不定詞動名詞のどちらをとるか (avoid Ving)」「前置詞 in の用法 (着用の in)」「関係代名詞が関係副詞か」「分詞の修飾」が出題されていた。不定詞、動名詞、分詞は「準動詞」と呼ばれ、密接なつながりのある単元であるので、三つをまとめて学習しておくとう効果的である。「関係詞」は、「比較」「仮定法」とあわせて高校英文法の柱とも言うべき重要単元であるため、特に念入りに学習をしておこう。特筆すべきは、「前置詞」「一致」という比較の対策が手薄になりがちな単元が出題されていたという点である。「前置詞」や「接続詞」など「品詞」の単元は後回しにしがちな単元であり、その分差がつきやすい単元であるので、しっかり学習しておきたい。今回出題されている前置詞については、in / on / for / with など基本的な前置詞の意味とそれを含むイディオムを確認しておくとうよいだろう。また、「一致」とは、主語にあわせて適切な動詞の形を選択する問題である。今回は He as well as I 「私と同様に彼も」という主語に対する動詞を選択する問題であった。A as well as B 「Bと同様にAも」という表現はAに焦点が当たるため、動詞もAの単語に一致させることになる。この場合はHeに一致させ、三人称単数を選択する問題であった。重要単元であるが、やはりこれも対策が手薄になりがちな単元といえる。差がつくところなのでしっかり学習をしておこう。

<大問5>

370語程度の英文を読み、設問に答える読解問題であるが、文法や語彙の知識を問う問題も出題されている。例えば空所補充では、be made of A 「Aから作られている」というイディオムのofを入れる問題や、() can we get this energy and use it on earth? という疑問文において、空所の後ろが完全文であることから副詞に相当するHowという疑問詞を入れるという、文法知識を問う問題が出題されている。また、文章中の一部が語句整序として出題されるが、今年度は形容詞 + enough to V の構文と、try to V がポイントであった。従って大問2や3の対策がここでも役に立つことになる。読解としては、問5で出題される本文の内容一致問題に苦手意識のある学生が多いのではないと思われるが、対策としては、復習のときに選択肢をしっかりと吟味することが効果的である。間違い選択肢に対しては、本文と丁寧に照合し、本文のどの部分を根拠としてなぜ間違いだと判断できるのかを書きこんでいくとうよい。そうすることによって間違い選択肢になりやすいのはどういう部分なのかわかるようになり、間違い選択肢を見抜く力が磨かれる。